

(最終更新日：2026 年 4 月 10 日)

「情報公開文書」

医学部 HP 掲載用

受付番号： 2026-1-232

課題名：脳神経外科疾患における診療情報と転帰の統合解析

1. 研究の対象

1990 年以降に東北大学脳神経外科で診断・治療を受けられた患者さん

2. 研究期間

2021 年 8 月（倫理委員会承認後）～2031 年 5 月

3. 研究目的

脳神経外科疾患における術前・術中・術後臨床経過・検査所見・画像所見と転帰に関して網羅的なデータベースを構築し、疾患・診断・治療に伴う転帰、合併症について明らかにすることを目的にしています。

4. 研究方法

診療過程の診断・治療・結果について以下の情報を集め、結果の予測、合併症の予測や新しい診断・治療の開発を行うためのデータベースとします。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

診断や治療評価に関すること

病歴：疾患や生活についてお話ししていただいた内容です

神経学的診察：麻痺や感覚障害など症状についての診察です

放射線画像診断：主に放射線部で行う検査です

・X線写真、CT、MRI：疾患の状態や周囲の脳や血管の情報などを得るための基本的な検査です

・血管撮影：血管の情報を詳細に評価するためのカテーテル検査です

・透視下検査：X線を使用した透視画像を確認しながらの検査です 当科では稀です

・核医学検査：放射性医薬品を使用した検査です 当科では脳の血流や腫瘍の性状を評価します

生理学的検査：主に生理検査室で行う検査です

・心電図、頸部・下肢エコー：術前に心機能を評価するための基本的な検査です 血管の評

価にも使用します

- ・脳波：てんかん発作が疑われる場合に検査することがあります

血液検査、尿検査：入院と外来を問わず定期的に検査することで異常の早期発見や早期治療に努めます

髄液検査：脳や脊髄の周囲にある髄液の性状を評価するための検査です

病理学的検査：腫瘍を確定診断するための検査です 摘出した腫瘍に対して行います

神経心理学的検査：言語症状や注意障害などいわゆる高次機能障害を診断するための検査（診察）です

手術に関すること

対象となる手術：開頭手術、生検手術、脊髄手術、血管内手術、てんかんに対する機能的手術、内視鏡手術、覚醒下手術

手術映像・手術画像：名前や顔など本人を特定できない状態で利用します

術中モニタリング：手術合併症を最小限にするための検査です

- ・バイタルサイン：手術中の脈拍、血圧、体温などに関する情報です
- ・脳波：てんかんや一部の腫瘍の手術では手術中脳波を治療評価や異常検出に使用します
- ・神経生理学的検査：脳や神経を直接刺激することで運動や感覚を障害していないか確認します

ます

- ・覚醒下手術での言語モニタリング：脳の中で言葉に関連する部位について検査をします。

術野内での検査

- ・生検：組織を採取して病理学的に診断をつけます。
- ・脳波：手術で露出された脳から直接電気活動を検討します。

治療に関すること

薬物治療：内服薬や点滴薬などです 抗癌剤治療もここに含まれます

放射線治療：腫瘍に対する治療の一つです

合併症に対する処置：治療に関連するもののほかに肺炎などの偶発症もここに含まれます

リハビリテーション：疾患による症状や体力低下に対しても実施します。

転帰（疾患の経過）に関すること

生存

再発

合併症：元の疾患が原因のものも治療が原因のものも含まれます

社会的・身体的転帰：日常生活、学校、復職などに関する内容です その評価のための検査も含まれます

6. 外部への試料・情報の提供

外部への提供は行いません。

7. 研究組織

本学単独研究です。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

下田由輝 職名 助教

東北大学神経外科学分野

〒980-8574

住所 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7230 FAX 022-717-7233

研究責任者：

遠藤英徳 職名 教授

東北大学神経外科学分野

〒980-8574

住所 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7230 FAX 022-717-7233

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合